

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	当社公式WEBサイトに掲載します。 (http://www.dainichi-net.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月中	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主確定基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 配当 3月31日 その他必要ある時は、あらかじめ公告いたします。		

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社などに口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受取方法、振込先のご変更 	お取引のある証券会社などにお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払配当金に関するご照会 	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

公式WEBサイトのご案内

より多くの方々に当社の魅力を知っていただけるように、2018年8月にリニューアルを行いました。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表など各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ

検索



●2018年8月にリニューアルしました。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6

ダイニチ工業株式会社 株主通信

第56回 定時株主総会決議ご通知
第56期 期末のご報告(2018年4月1日～
2019年3月31日)



【証券コード：5951】

第 56 回定時株主総会決議ご通知

2019 年 6 月 25 日開催の当社第 56 回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- 報告事項** 第 56 期（2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで）事業報告及び計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 決議事項** **第 1 号議案 剰余金の処分の件**
本件は、原案のとおり承認可決されました。（期末配当金は、1 株につき 22 円）
- 第 2 号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）8 名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に吉井 久夫、花野 哲行、田村 正裕、荏原 裕行、吉井 唯、原 信也の 6 氏が再選され、新たに海保 雅裕、野口 武嗣の 2 氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第 3 号議案 監査等委員である取締役 3 名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、監査等委員である取締役に渡辺 美幸、田中 勝雄、宮島 道明の 3 氏が再選され、それぞれ就任いたしました。
- 第 4 号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件**
本件は、原案のとおり、任期満了により退任された取締役（監査等委員である取締役を除く。）小林 正志氏に対し、在任中の功労に報いるため、当社の定める「役員退職慰労金支給内規」に基づき、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することといたしました。
なお、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、取締役会に一任することについて承認可決されました。

以上

企業理念 - わが社の方針 -

企業理念である「わが社の方針」は、1964 年 4 月の創立間もなく創業者である佐々木文雄がつけました。当社では毎朝全社員で唱和しております。



常に新しい技術を生み出し

新しく生み出す技術をベースに商品をつくる。これらは高付加価値を生む。特長のある商品をつくることによって、企業の社会に対する存在意義をもつ。

私達が心から誇れ

前項を受けて、本当に社会に存在する意味のある商品をつくり、これらを誇りにもつ。

お得意が安心して販売でき

お得意とは販売店様のこと。お客様に商品を説明してくださる販売店様が自信をもって取り扱ってもらえる商品を提供する。

使用者にいつまでも愛されるよい商品をつくる

「ただ気に入って便利」といったレベルを越え、お客様に愛情を持って使用してもらえよう商品をつくる。

目次

第 56 回定時株主総会決議ご通知	1	特集 『強みを活かす、そして勝つ』
企業理念 - わが社の方針 -	2	～「カンブリア宮殿」で紹介されました～ 9
トップメッセージ	3	特集 物流に関する業務を集約し、より効率の良い倉庫に
当事業年度の業績と次期の見通しについて	4	～和泉物流センター第一倉庫・管理棟完成～ 11
お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり	5	決算のご報告 / 会社概要 / 株式の状況 13
2018 年度のトピックス	7	株主メモ / 公式 WEB サイトのご案内 裏表紙

トップメッセージ

当社は創業以来、石油燃焼機器にかかわる製品開発によって事業展開を続けてきました。

石油燃焼機器は単純な金属加工製品と思われがちですが、製品開発の過程で新素材のセラミック部品や、半導体、IC、マイコンといった電子技術の導入によって安全で高性能な製品に進化させてきました。

それによって、ユーザーニーズに応じて、市場を開拓すると共に、トップブランドを維持しています。

この技術開発で得た能力を活かして、石油燃焼機器以外の加湿器やコーヒーメーカーといった製品分野でも有力メーカーの地位を得ています。

当社は、自社の技術開発によって製品開発を行い、製造販売も一貫して行う会社です。

これからも、新製品の開発に注力した企業でありたいと思っています。自主独立の会社なので、自らの活動によって成果が左右されますが、それゆえにやりがいもあります。

社員はもとより、協力会社、仕入先、取引先、地域社会が私達の事業活動によって、豊かになることを目標として取り組んでいます。



2019年6月
代表取締役社長
吉井 久夫

当事業年度の業績と次期の見通しについて

当事業年度の業績について

当事業年度における業績は、売上高は190億7百万円(前期比5.5%減)、営業利益は5億61百万円(同37.3%減)、経常利益は6億18百万円(同34.1%減)、当期純利益は3億87百万円(同42.9%減)となりました。

次期の見通しについて

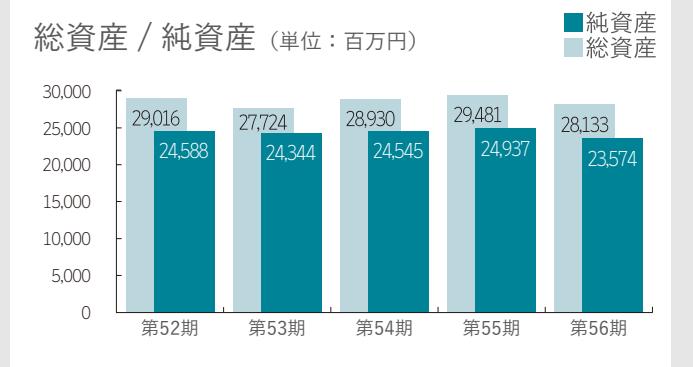
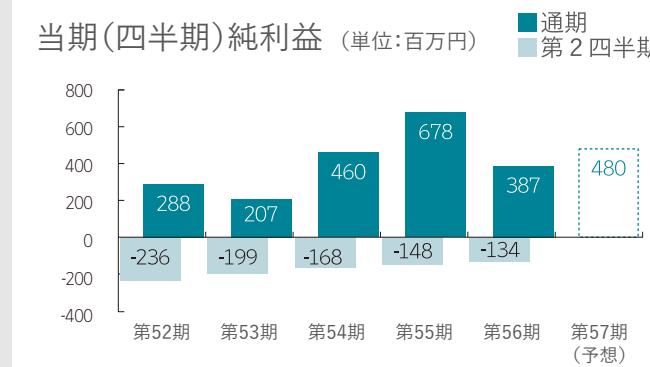
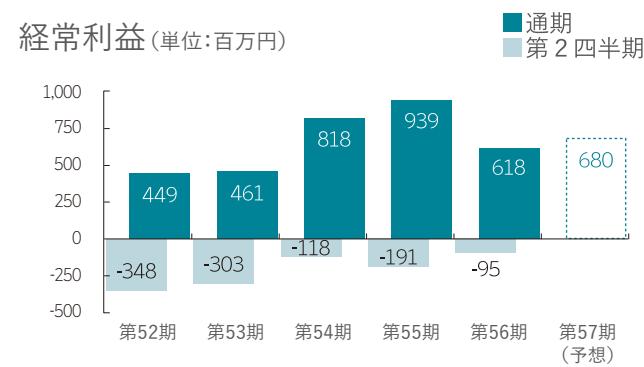
今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復に向かうことが期待されます。また、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があります。

このような環境のもとで当社といたしましては、お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、品質と製品安全の確保を重視し重大製品事故を未然に防止する体制を継続することに努め、多様化するニーズに即した商品を提供してまいります。

また、社内の合理化を進め経営体質改善の取り組みを継続してまいります。

これにより通期の業績見通しにつきましては、売上高205億円(前期比7.9%増)、営業利益6億40百万円(同14.1%増)、経常利益6億80百万円(同10.0%増)、当期純利益4億80百万円(同24.0%増)を予定しております。

財務ハイライト



※『税効果会計に係る会計基準』の一部改正]を当期首より適用しております。第55期(2018年3月末)の数値は当基準を遡って適用し、組み替えて表示しております。

お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり

お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、高い品質、使いやすく
 便利な機能、安全性にこだわった製品を皆様にお届けしています。

暖房機器

売上高145億26百万円
 (前期比9.7%減)

家庭用石油ファンヒーター

3枚の動くフラップと2枚の固定ルーバを搭載し、小火力時でも足元からお部屋全体をムラなく暖めることができるSGXタイプを発売いたしました。

また、業務用石油ストーブと同等の暖房出力を持ち、設置場所や給油方法を家庭用に最適化した業界最大の暖房出力を持つFZタイプを発売いたしました。

環境機器

売上高33億12百万円
 (前期比11.5%増)

加湿器

「Ag+抗菌アタッチメント」を搭載したRXシリーズ4機種とHDシリーズパワフルモデル3機種を発売いたしました。

当事業年度におきましては、全3シリーズ17機種の商品を販売し、売上は前期実績を上回りました。

その他

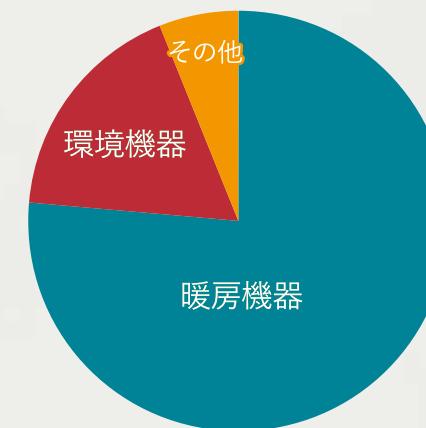
売上高11億68百万円
 (前期比10.4%増)

部品・コーヒーメーカー他

手軽に自家焙煎を楽しむことができるコーヒー機器は、愛好家や自家焙煎コーヒー店から評価され、堅実な販売を続けています。

また、加湿器のフィルター販売等が堅調に推移したことに加え、製造受託に関する金具や治具などの販売が拡大し、売上は前期実績を上回りました。

■主要品目別売上高と売上構成比



品目	売上高	売上構成比
暖房機器 (石油暖房機器・電気暖房機器・ガス暖房機器)	145億26百万円	76.4%
環境機器 (加湿器)	33億12百万円	17.4%
その他 (部品・コーヒーメーカー他)	11億68百万円	6.2%
合計	190億7百万円	100.0%



※1. 2007~2018年度 (年度=4月1日~3月31日) 石油ファンヒーター メーカー別販売数量シェア / ダイニチ (シェア数値 / 2007年度=49%・2008年度=59%・2009年度=53%・2010年度=49%・2011年度=49%・2012年度=50%・2013年度=54%・2014年度=53%・2015年度=54%・2016年度=52%・2017年度=55%・2018年度=51%) / 全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan調べ。

※2. 2013~2018年度 (年度=4月1日~3月31日) 加湿器 メーカー別数量・金額シェア / ダイニチ (全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan調べ)。

2018年度のトピックス

8月 新製品発表会開催



8月21日に、時事通信ホール(東京)にて初めて開催した「ダイニチ工業株式会社 新製品発表会」。家庭用石油ファンヒーター、加湿器の2018年度モデルを発表しました。

8月 加湿器2018年度モデル発売



「加湿器のお手入れを簡単にしたい」「加湿器を清潔に保ちたい」というお客様の声を受け、ハイエンドモデルのRXシリーズとHDシリーズパワフルモデルに「Ag⁺抗菌アタッチメント」を搭載しました。

10月 加湿器 累計生産台数250万台達成

10月4日に、加湿器の累計生産台数250万台を達成しました。加湿器の生産は2003年から16年目で達成となりました。

12月『冬のあったか体験会』開催



12月8日に新潟市のインテリアショップ「S.H.S鳥屋野店」で『冬のあったか体験会』を行いました。石油ファンヒーターのご愛用者や、買い替えをご検討中の方に最新モデルのSGXタイプをご体感いただくというもので、当日は多くの方にご来場いただきました。

2018年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月
---------	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	---------	----	----

8月 家庭用石油ファンヒーター2018年度モデル発売

3枚の動くフラップと2枚の固定ルーバで、お部屋全体を快適に暖めるSGXタイプと家庭用型モデルNo.1^{※1}の暖房力で広いスペースも1台でしっかり暖めるFZタイプを新発売しました。



10月 2018年度グッドデザイン賞を受賞

10月3日に、家庭用石油ファンヒーターSGXタイプとFZタイプが2018年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。1992年の業務用石油ストーブFM-811以来26年ぶりの受賞となりました。

10月 家庭用石油ファンヒーター 累計生産台数3,000万台達成



当社は1964年の創業当時より石油燃焼技術を応用した製品開発を行い、1971年には煙突が不要な業務用石油ストーブの製造販売を開始しました。1980年には家庭用石油ファンヒーターの製造販売を開始し、10月24日に累計生産台数3,000万台達成となりました。

1月 テレビ番組「カンブリア宮殿」で紹介

1月31日、テレビ「カンブリア宮殿」で当社が紹介されました。社長の吉井の密着取材やスタジオで小説家の村上龍氏、タレントの小池栄子氏との収録の様子が放送されました。



詳細は9Pへ

※1. 家庭用石油ファンヒーター(一般社団法人日本ガス石油機器工業会による強制通気形開放式石油ストーブ内区分)における最大の暖房出力。2018年7月1日現在。

『強みを活かす、そして勝つ』 ～「カンブリア宮殿」で紹介されました～



●「ハイドーゾ生産方式」時間のかかるプレス機の金型交換も10分以内で完了



●協力工場との忘年会の様子



●生産の取り組みについてインタビュー



●店頭の様子

■「カンブリア宮殿」公式 YouTube 限定配信動画『座右の銘』

https://youtu.be/biU8OyM8L_A



社長 吉井の座右の銘『一隅を照らす』

「みんなが小さな場所を照らすと、全体が明るく良くなっていくと思っています。」

私達は大きな会社ではなく、地方の小さな会社で何百人の社員がいるだけです。

世界のこと、日本全体のこととはとても言えませんが、それでも地方の小さなところで輝く努力をする。そのような会社や人がたくさんいると、地域も国も世界も良くなるのではないか、そんな思いで『一隅を照らす』を座右の銘にしています。」

■「カンブリア宮殿」はテレビ東京ビジネスオンデマンドで ご覧いただけます。

<http://txbiz.tv-tokyo.co.jp/cambrial/>



テレビ東京で放送したニュースや報道番組の一部を、パソコンやスマートフォンで月額 540 円（入会月無料）で視聴できるサービスです。

2019年1月31日（木）、テレビ東京系列局で放送の「カンブリア宮殿」で当社が紹介されました。テーマは、『懐かしの石油ファンヒーターで大躍進!知られざるヒットメーカー ダイニチの秘密』として3部構成で放送されました。

工場の取り組み

都心ではあまり使わなくなった石油ファンヒーター。しかしながら全国的に見れば今なお売れ続けている。大手家電メーカーが相次いで撤退する中で、11年連続でトップシェアを走っている当社の工場の取り組みを「ハイドーゾ生産方式」を中心に紹介されました。

会社の制度や協力工場との関係

子育てラインや出産・入学祝い制度など従業員が働きやすい環境を整えることで、高い正社員率、離職率の低さにつながっていると紹介。また、「通年生産」を通して協力工場との共存共栄を実現させた取り組みについても協力工場様のインタビューとともに取り上げていただきました。

技術を応用した製品

石油ファンヒーターで培った技術を応用した製品として、イチゴ農家様でご利用いただいている「光合成促進機」が紹介されました。スモークマシンもスタジオで実演し小説家の村上 龍氏、タレントの小池 栄子氏にご体感いただきました。

また、番組終盤の編集後記では『強みを活かす、そして勝つ』という村上 龍氏の言葉で締めくくられました。

「カンブリア宮殿」とは?

テレビ東京の経済ドキュメンタリー番組です。カンブリア紀と呼ばれる大昔の時代に、短期間で生物が多様な進化を遂げたことから、現代に起きた経済の大変革を“平成カンブリア紀”として、話題の企業経営者や経済人を紹介する番組です。

嬉しいコメントを寄せていただきました

うん十年前、新婚家電でダイニチ製品を購入した折、同封されていたアンケートハガキを返したら、丁寧なお礼のお手紙をいただき、「今時、真面目な会社が新潟にあるんだなあ」と感心。以降買い替えながらずっとファンです。

うちのダイニチも実家のダイニチもあの工場から来たんだと思うと感慨深い。

小学生の頃、塾の教室にダイニチの製品がありました!もう、40年あまり前ですが...^^番組拝見いたしました。福利厚生、特に子育てのために手厚くなさっている企業努力素晴らしいと思いました!

こういうメーカーで働きたかったなー。ダイニチ工業はいい会社だ。製造ラインなのに皆の制服が綺麗な会社は、なかなかないよ。

福利厚生がしっかりとしているので、信用できると思い製品を購入しました。購入した製品は順調です。

ダイニチの社長さんとってもいい人そう。協力会社と一致団結して凄いなあ〜。ファンヒーターはずっと使ってるけど、番組を見てて心まで温まりました。

物流に関する業務を集約し、より効率の良い倉庫に ～ 和泉物流センター第一倉庫・管理棟完成 ～



昨年6月より改修工事を行っていた和泉物流センター（旧称：配送センター）第一倉庫・管理棟が完成し、5月末より移転作業、6月下旬より稼働開始予定です。

【新築の目的】

- 第一倉庫は完成から39年。老朽化の進行で大規模な改修工事の必要性が予測される。
- 物流オペレーションの強化により、出荷作業の効率化、作業安全の向上が急務。

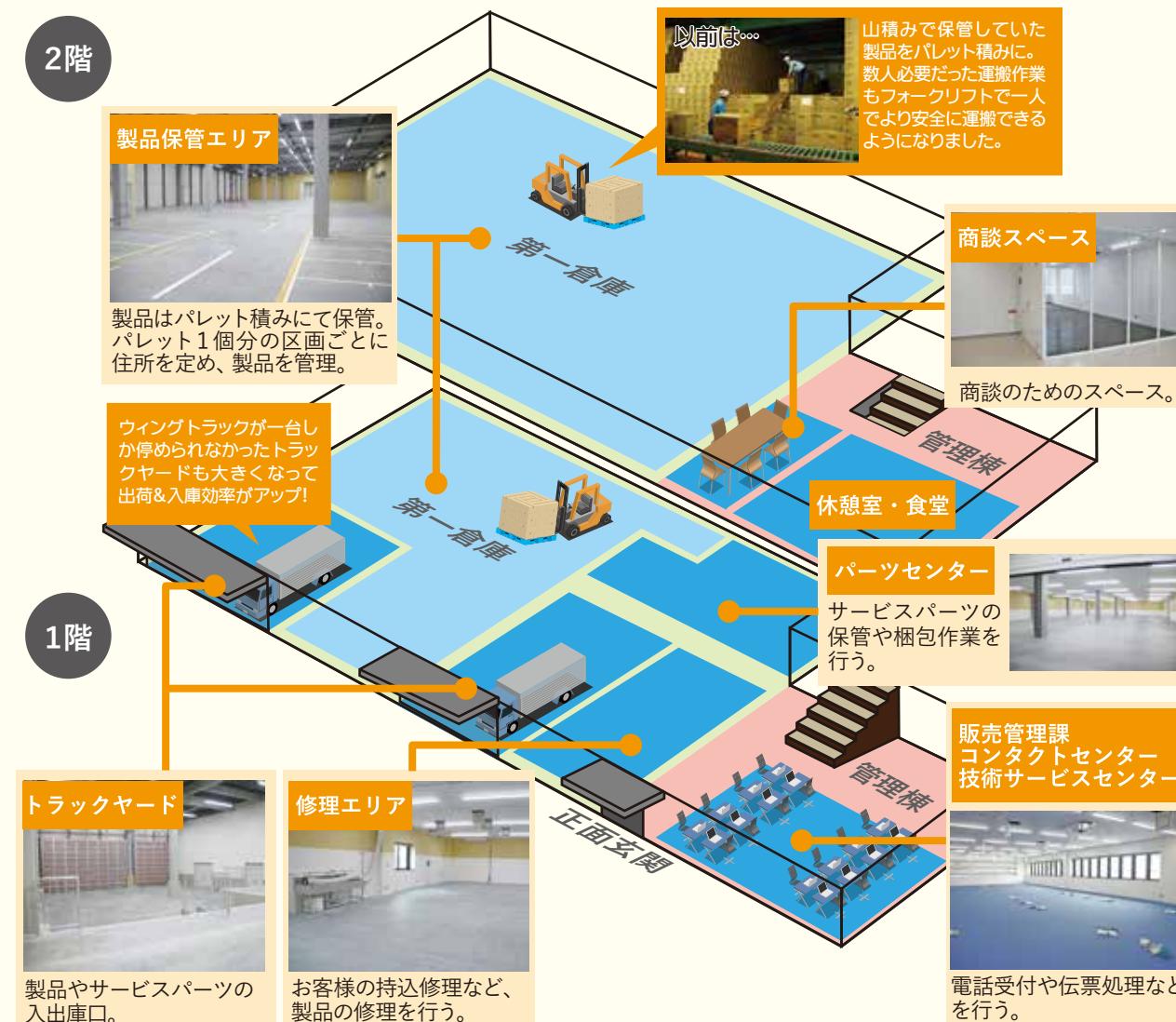
【新築の効果】

- 第一倉庫の製品保管台数は約6割増加。
- 新設備の導入等により、入出荷作業効率が大幅アップ。
- 本社工場の1、2階に分散していた部品倉庫と出荷エリアを集約し、作業効率アップ。

■和泉物流センター第一倉庫・管理棟レイアウト

新設された和泉物流センターの管理棟には、販売やアフターサービスに関する部署である販売管理課・技術サービスセンター・コンタクトセンターが本社より移動します。

物流機能が集約され、出荷作業のさらなる効率化が期待できます。



※写真は5月末時点の稼働前のものです。

決算のご報告

貸借対照表

(単位:百万円/百万円未満切捨)

	当事業年度 2019年3月31日現在	前事業年度 2018年3月31日現在
流動資産	19,369	22,343
固定資産	8,763	7,137
有形固定資産	7,347	5,459
無形固定資産	23	28
投資その他の資産	1,392	1,649
資産合計	28,133	29,481
流動負債	3,654	3,580
固定負債	904	963
負債合計	4,558	4,543
株主資本	23,294	24,415
評価・換算差額等	279	522
純資産合計	23,574	24,937
負債純資産合計	28,133	29,481

※『税効果会計に係る会計基準』の一部改正]を当期首より適用しております。前事業年度の数値は当基準を遡って適用し、組み替えて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円/百万円未満切捨)

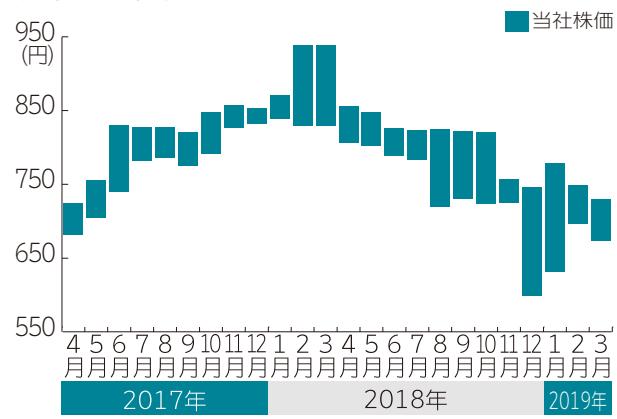
	当事業年度 (2018年4月1日 2019年3月31日)	前事業年度 (2017年4月1日 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 734	1,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,831	△ 281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,507	△ 388
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,073	773
現金及び現金同等物の期首残高	15,645	14,871
現金及び現金同等物の期末残高	10,572	15,645

損益計算書

(単位:百万円/百万円未満切捨)

	当事業年度 (2018年4月1日 2019年3月31日)	前事業年度 (2017年4月1日 2018年3月31日)
売上高	19,007	20,108
売上原価	13,750	14,607
売上総利益	5,256	5,500
販売費及び一般管理費	4,694	4,603
営業利益	561	896
営業外収益	177	149
営業外費用	120	106
経常利益	618	939
特別利益	—	27
特別損失	80	38
税引前当期純利益	537	928
法人税、住民税及び事業税	135	290
過年度法人税等	—	12
法人税等調整額	14	△53
当期純利益	387	678

株価の推移



会社概要 / 株式の状況

会社概要

2019年3月31日現在

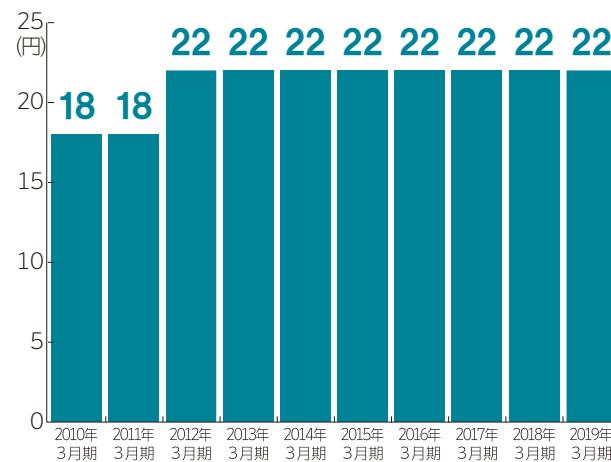
社名	ダイニチ工業株式会社
英文社名	Dainichi Co.,Ltd.
本社	〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6
創立	1964年4月1日
資本金	40億5,881万円
従業員数	495名

株式の状況

2019年3月31日現在

発行可能株式総数	54,767,100株
発行済株式の総数	19,058,587株
株主数	3,806名

1株当たりの配当金の推移



大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ビー・エッチ	1,841	11.38
株式会社ダイニチビル	1,361	8.41
ダイニチ工業従業員持株会	935	5.78
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	880	5.44
株式会社第四銀行	822	5.08
吉井 久夫	570	3.53
吉井 久美子	556	3.44
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	446	2.76
渥美 るみ子	391	2.42
吉井 唯	378	2.34

(注)当社は自己株式を2,872,940株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式比率

